

## 障がいのある人の雇用に取り組む



### 近畿支店 (京都市中京区)

「京都はあとふる企業」です

(社福)京都ライフサポート協会 若杉



【主な事業内容】

給食受託業務

【障がいのある人の主な仕事】

調理補助・配膳・食器洗浄など

障がいのある人が働く社会福祉法人京都ライフサポート協会「若杉」の厨房を訪問しました。



#### 【障がい者雇用の経緯】

「障がいのある人もない人も、お互いに特別、区別されることがなく、社会生活をともにするのが正常なことであり、本来の望ましい姿である」という考え方にに基づき、全社的に障がい者雇用に取り組んでいます。近畿支店は、京都府において79件の給食を受託しており、そこに33名の障がいのある人が働いています。主には、病院や福祉施設等の厨房において、盛りつけや配膳、食器洗浄などを行っています。

#### 【工夫していること】

障がい者活躍支援マニュアルを整備するとともに、通勤や勤務時間、業務内容等について、本人と話し合い、無理なく働いてもらえるように努めています。また、各現場の責任者や調理師等と支店の担当者(スーパーパイザー)が連携し、運営やサポートに当たるようにしています。

#### 【Hさんに聞きました】

2016年に若杉に入りました。日清に移籍後も継続して働いています。仕事は、配茶の準備、食器の数出し、配下膳の準備、食器等の洗浄業務などです。

日清に変更になった時は、変更点を覚えることが少し難しかったです。

今も新しいことを覚えていくのは苦手です。苦手を克服するために、落ち着いて焦らずに物事を行うように心掛けています。

趣味は、映画村に行くことです。映画村の噴水や昔の戦隊モノのロケ地等を見ることが好きです。原付の免許取得を目標に勉強をしたいと思っています。

#### 【若杉では】

2年前に若杉の給食は直営から日清の委託に変わりました。2名の障がいのある人が、直営から引き続いて働いています。仕事は、食器の準備、配下膳、配茶、食器洗浄などです。仕事内容は基本的に同じですが、変更がある時は、本人の理解を確認しながら進めています。

委託になった時に、体制も含め環境の変化があり、2名とも一時的に不安定になりました。スタッフ1名が2名に付きっきりで指導し、もう1名のスタッフが周りからフォローする体制を取りました。また、就業・生活支援センターと連携したサポートも受けています。今では、2人とも安定的に働いています。



令和4年12月取材